

入ってて良かったライオンズ

入会前の新会員オリエンテーションで言われた三大義務は、“一に会費納入、二に例会出席、三に奉仕”でした。奉仕に参加できないときには“金を出せ”、“金が出さないなら体を出せ”、“そして”奉仕は会員の絆を作るものであり、喜んでもらうものでもない“とも。

当時は、L.L.の集まりである「木曜会」があり、月1回の例会があって食事会や旅行、クラブの事業への応援参加などの活動をされており、L.L.同士の繋がりもできていきました。その繋がりは今も続いているようです。

クラブに入会してから、まず飲みに行くことが非常に多くなり、異業種の集まりのため仕事の話は殆どなく、クラブの運営などライオンズの話が自然と多くなっていきました。また、海外へ行く機会が多くなり最低年1回は行っていたと思います。海外での遊び方は、先輩方々にみっちり教えていただき感謝しています。

当然、親しい友達（酒飲友達）が増え、話題も広くいろんな話題が出てくるようになり、自社ではなかなか話す相手のいない経営の話なども話題になるようになりました。

父の後釜でライオンズにお世話になり、今に至っています。今回「入ってて良かったライオンズ」というテーマでコメントを頼まれました。本当に入ってて良かったです。幼友達や同級生や同業者友達などでない友達です。また、“協調”という本当の考え方や行動を感じ取れるようになったと感じています。入会当時は先輩の方々に、“会員のL.O.Oの爪の垢をもらって飲め”と言われ、態度や言葉の使い方の注意を受けたものです。当時は本当に隠れてですが姫路弁を練習したものです。妻も木曜会で知り合ったL.L.の皆様と、今も食事会や旅行で楽しんでいます。

ライオンズクラブは、奉仕する前に仲間を作ってくれて、日常でない世界の広がりを体験させてくれています。少し大げさですがそのように感じています。

最後に私のスポンサーにいつも言われていたのは、“ライオンズを一生懸命してもいいが、決してライオンズマンにはなるな！自分の事業が一番で、会社があつてのライオンズだ。”入会して何年もたってですが、この意味が理解できるようになりました。